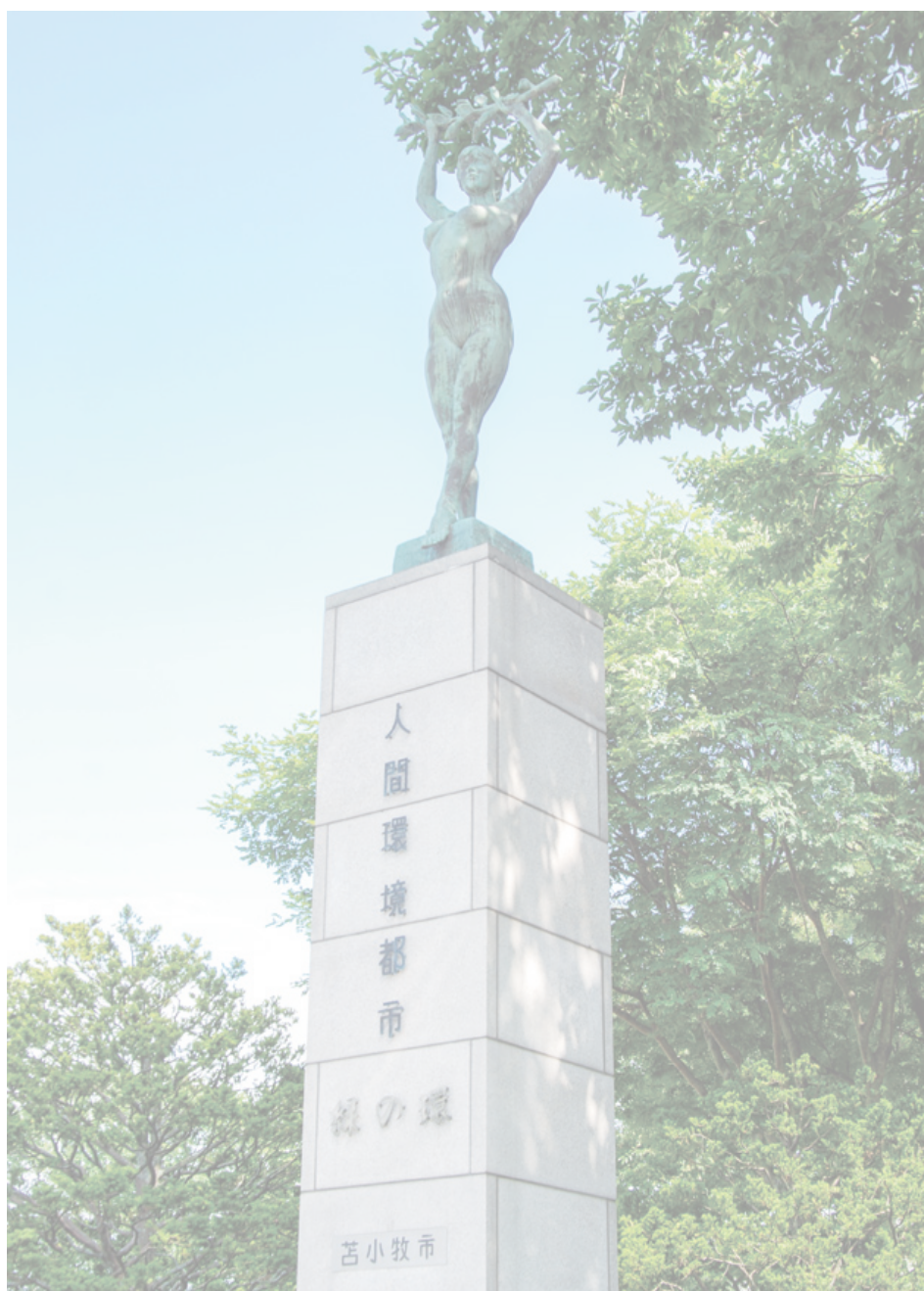


第7次基本計画



総論

第6次基本計画の総括について

第1 計画の名称

第2 計画の趣旨

第3 計画の期間

第4 計画の対象区域

第5 施策の範囲

第6 人口の想定

第7 SDGsについて

第8 重点プロジェクト

第9 施策の体系

第6次基本計画の総括について

本市では、基本計画の進行管理を目的として、第5次基本計画から毎年施策評価を行っており、これを市議会に報告するとともに、一般に公表しています。

第6次基本計画の施策評価は、計画に示された8項目の運営方針と40項目の基本施策を対象として実施しており、それぞれの項目を良い評価の順にA・B・C・Dの4段階で評価しています。

第6次基本計画の4年目に当たる令和3年度までの取組に係る施策評価においては、全48項目のうち、A評価が18項目(37.5%)、B評価が30項目(62.5%)、C評価及びD評価は0という結果となりました。

以上のことから、施策全体としては、概ね計画どおりの進捗状況と評価しています。

この令和3年度までの取組に係る評価について、令和4年度に作成した施策評価の内容の一部を抜粋し、以下に記載します。

項目	評価	評価の解説
運営方針01 地域活動の促進	B	町内会活動が制限された中で、各町内会の活動等を紹介する町内会向け広報紙の配布を開始するなど、町内会活動の活性化に向けた取組を行った。
運営方針02 市民自治の推進	B	市民自治の推進に向けて、一定の成果が得られたが、より改善していくよう努めていく。
運営方針03 男女平等参画の推進	B	男女平等参画の推進について、様々な施策等を展開しており、前進している部分もあるが、見直しが必要な部分もあった。
運営方針04 平和の推進	B	平和の推進について、成果は見えにくいだが、多くの市民理解が得られている。
運営方針05 行政組織の活性化	A	基本目標に沿った取組が行われ、多くの成果が得られている。
運営方針06 行政運営の効率化・適正化の推進	A	運営方針の趣旨に沿って取り組まれており、成果が得られている。
運営方針07 健全な財政運営と財政基盤の強化	A	健全な財政運営と財政基盤の強化について、趣旨に沿って進められている。
運営方針08 広域連携の推進	B	広域連携の推進に向けて、成果が出ているがより改善していくよう努めていく。
基本施策01 保健予防対策の充実	B	新型コロナウイルス感染症の影響もある中、それぞれの事業において、一定程度の成果が出ている。今後もより良く進めいくため、工夫と検証を重ねて、業務を遂行する。
基本施策02 医療体制の整備・充実	B	医療体制の充実に向けて、それぞれの事業において成果が出ている。今後もより改善していけるよう努めていく。
基本施策03 地域福祉の推進	B	生きがいと思いやりのある地域社会の実現に向けて、市民や各団体との連携を深めることで一定の成果が出ていると感じているが、より改善していくよう努めていく。



項目	評価	評価の解説
基本施策04 高齢者福祉の推進	B	高齢者福祉の推進について、苫小牧版地域包括ケアシステム*の実現に向けた成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。
基本施策05 障がい者福祉の推進	B	障がい者施策の総合的な推進について、年齢に限らず内容が多岐にわたるため、成果は見えにくいだが、多くの市民理解が得られている。
基本施策06 子育て支援の充実	B	様々な施策を継続実施、または計画的に新規実施しており、成果が得られている。今後についても計画的に進めていきたい。
基本施策07 社会保障の維持	B	市民の健やかな暮らしに向けて一定の成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。
基本施策08 農業の振興	B	農業の振興に向けて、成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。
基本施策09 林業の振興	A	林業の振興について、趣旨に沿って進められている。
基本施策10 水産業の振興	B	水産業の振興について、一定程度の成果は得られたが、より良く進めていくべく努力する。
基本施策11 工業の振興	B	工業の振興に向けて、多くの取り組みを実施することで一定の成果が出ている。今後も、技術革新に地域の産業が対応できるよう、取組の改善を進める。
基本施策12 商業の振興	A	新規創業セミナー受講者数や補助金申請者数の増加により、基本目標の達成に向けて多くの成果が得られている。
基本施策13 企業立地の促進	A	新規の企業立地が進むなど、企業誘致に一定の成果が出ているが、さらなる企業進出や産業誘致に繋がるよう取組を進める。
基本施策14 観光の振興	A	苫小牧市観光振興ビジョンの趣旨に沿って進められている。
基本施策15 雇用・労働環境の整備・充実	B	雇用・労働環境の整備・充実について、各事業の効果は得られている。今後も変化する雇用情勢を把握しつつ、適宜事業の見直しを行う。
基本施策16 新千歳空港の拠点形成強化と周辺環境対策の推進	A	新千歳空港の拠点形成強化と周辺環境対策の推進について、多くの成果が得られている。
基本施策17 港湾整備とポートセールスの推進	B	東港区周文ふ頭の新規岸壁整備が、国の事業として採択されるなど、より一層の港湾機能の強化が期待できる。一方で、ポートセールスなど新型コロナウイルスの影響を受けた事業もあることから、情勢を注視しながらさらなる取組を進める。
基本施策18 苫東開発の推進	B	苫東開発の推進に向けて、用地分譲や企業進出が進むなど一定の成果が出ているが、更なる企業立地に繋がるよう努めていく。

項 目	評 価	評 価 の 解 説
基本施策19 義務教育の充実	B	義務教育の充実に向けて、より一層教育内容と環境を、改善していくよう努めていく。
基本施策20 高校・大学・各種教育 機関の充実	B	高等教育機関との連携や教育水準の維持向上について、より一層改善していくよう努めていく。
基本施策21 生涯学習の推進	B	生涯学習の推進に向けて、成果が出ているがより改善していくよう努めていく。
基本施策22 市民スポーツの推進	B	多くの事業において新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたが、改善の傾向にある。引き続き、競技団体等と連携し、多くの市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めていく。
基本施策23 文化芸術の振興	B	文化芸術の振興について、成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。
基本施策24 国際・国内交流の推進	B	国際・国内交流の推進について、成果は見えにくいだが、多くの市民理解が得られている。
基本施策25 自然環境の保全	A	自然環境の保全について、趣旨に沿って進められている。
基本施策26 公害の防止と地球環境 の保全	B	公害の防止と地球環境の保全について、趣旨に沿って進められている。
基本施策27 生活衛生の充実	A	生活環境の確保等について、趣旨に沿って進められている。
基本施策28 ごみの減量とリサイク ルの推進	B	「ゼロごみのまち とまごまい」の実現に向けて、幅広い取組を展開してきた。コロナ禍を始め、社会動向の変化に応じて、引き続き、課題解決に向けて取り組んでいく必要がある。
基本施策29 まちなかの活性化	B	まちなかの活性化について、成果は見えにくいだが、多くの市民理解が得られている。
基本施策30 居住環境の充実	A	居住環境の充実について、趣旨に沿って進められている。
基本施策31 上水道の整備・健全な 維持管理	A	主要施策の取組について、一定の成果は得られています。
基本施策32 下水道の整備・健全な 維持管理	A	下水道の整備と健全な維持管理について、着実な取組により、十分な成果が得られている。今後も目標の達成に向けて取組を進めていく。
基本施策33 道路の整備	A	道路の整備について、趣旨に沿って進められている。



項目	評価	評価の解説
基本施策34 公共交通の充実	A	市内公共交通ネットワークの構築に向けて、趣旨に沿って進められている。
基本施策35 消防・救急体制の充実	B	消防・救急体制の充実に向けて、成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。
基本施策36 防災体制の充実	A	防災体制の充実について、十分な成果が得られている。この調子で進めていきたい。
基本施策37 河川・海岸の保全と河川 の環境整備	B	治水機能の充実や良好な水辺空間の形成に向けて、おおむね目標に適った取組ができた。引き続き、関係機関との連携を図り、河川・海岸の整備促進に努めていく。
基本施策38 交通安全の推進	A	交通安全の推進について、趣旨に沿って進められている。
基本施策39 防犯対策の推進	A	防犯対策の推進について、趣旨に沿って進められている。
基本施策40 消費生活の安定	B	消費生活の安定に向けて、成果が出ているが、より改善していくよう努めていく。

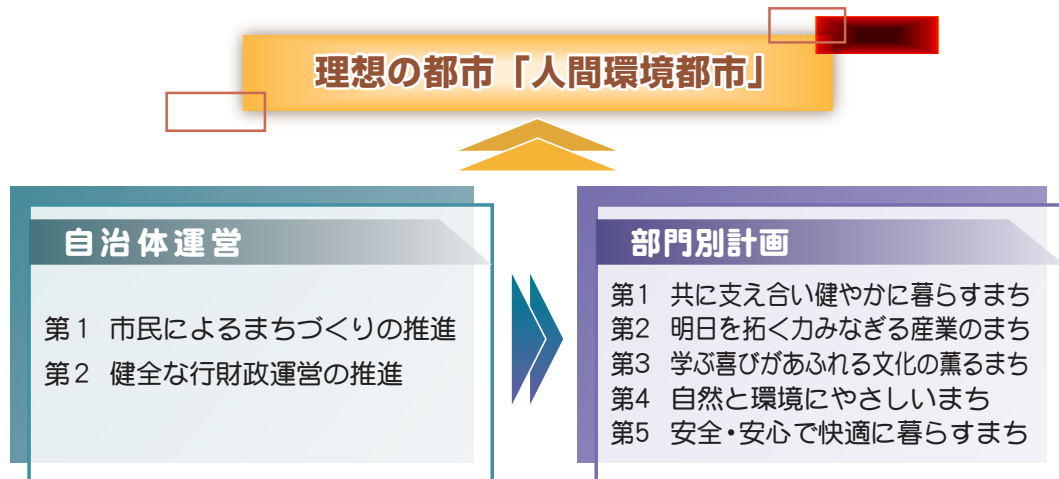
第1 計画の名称

この計画の名称は、「苫小牧市総合計画 第7次基本計画」とします。

第2 計画の趣旨

本市は、基本構想において、目指すべき理想の都市を「人間環境都市」としており、基本計画は、この「人間環境都市」の実現に向けたまちづくりの総合的な指針として策定するものです。

「人間環境都市」の実現に向けて、「自治体運営」で示す市政運営の基本的な方針に基づき、「部門別計画」で体系的に示す行政部門ごとの各施策に取り組みます。



第3 計画の期間

この基本計画は、令和5年度(2023年度)から5年間を見通し、令和9年度(2027年度)までを計画期間と定めることとします。

和 暦	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
西 暦	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	基本構想									
	第6次基本計画									
					策定	第7次基本計画				

第4 計画の対象区域

計画の対象区域は、原則として、本市の行政区域とします。ただし、市民の日常生活と社会経済活動の広域化に対応するため、本市の行政区域を越えた広域的な区域とする場合があります。

第5 施策の範囲

施策の範囲は、市が実施するもののほか、市の支援、要請によって実施する国、北海道、市民、団体、企業などによるものも対象とします。

第6 人口の想定

この計画の目標時期である令和9年度(2027年度)の人口は、16万人台後半を想定します。

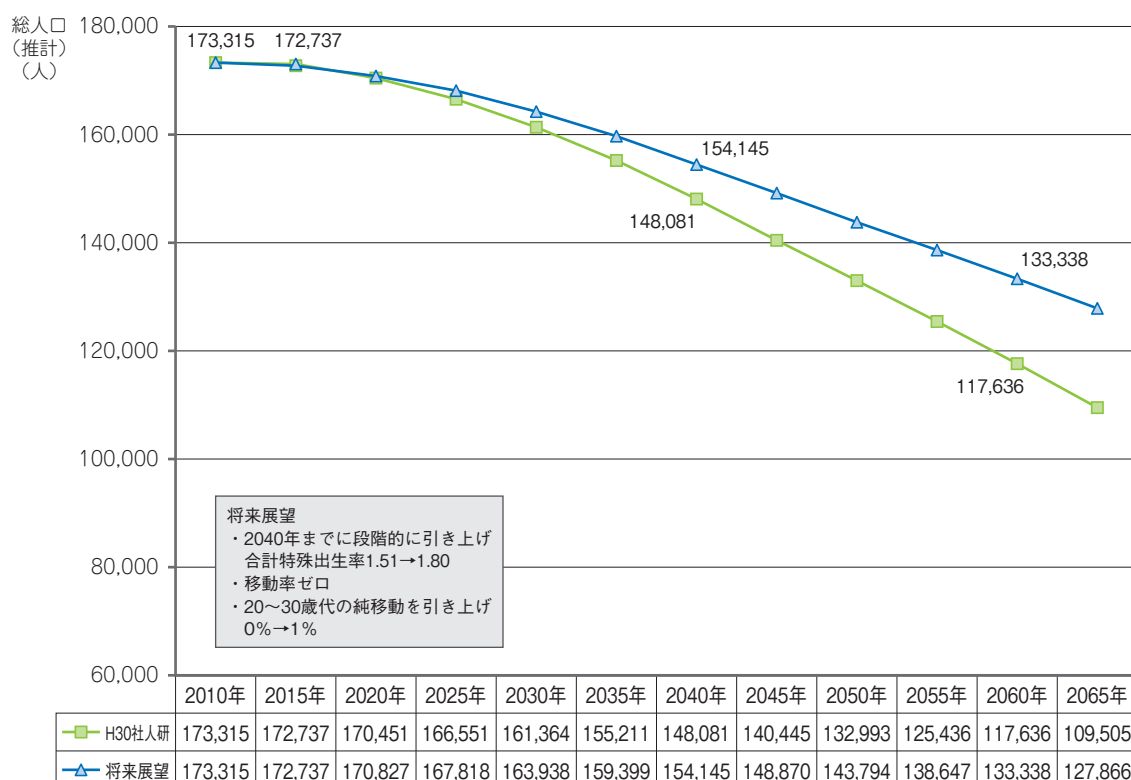
本市の人口は、市政の発展とともに増加を続けてきましたが、国勢調査の結果においては、平成22年(2010年)の173,320人をピークに減少へと転じ、直近の令和2年(2020年)には170,113人との結果が示されました。北海道内の他都市との比較では、本市の人口の減少幅は小さく抑えられているものの、その後も減少傾向は続き、住民基本台帳上では、令和3年3月に17万人を下回り、令和4年12月末時点で168,299人まで減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)の人口推計(平成30年(2018年)発表)では、令和7年(2025年)が166,551人、令和12年(2030年)が161,364人と推計されています。

人口減少は地方都市共通の課題ですが、減少を可能な限り抑制し、その影響を最小限に抑え、市民が安心して暮らすことができる持続可能なまちを目指す必要があります。

「未来に向かって挑戦し続けるまちづくり」の理念の下、「苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」を始めとする様々な施策を通して、若年層の転出抑制や出生率の向上を図り人口の減少を抑制することとし、目標時期の想定人口は社人研の想定を上回る16万人台後半と設定します。

■ 本市総人口の将来展望(第2期苫小牧市人口ビジョン、社人研推計、国勢調査結果)



第7 SDGsについて

平成27年(2015年)9月、国連で150を超える加盟国首脳が参加の下、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択され、その中核として17のゴールと169のターゲットからなるSDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)」が掲げられました。

SDGsについては、本市においても積極的に取り組むべきものとして、既に施策評価や一部の個別施策など、SDGsを意識した取組を行っているものもあります。







本計画では、各施策についてSDGsを意識して取り組んでいくこととし、そのつながりをわかりやすくするために、各施策のページに関連するアイコンを記載するほか、以下の表に関係する施策項目を記載します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





アイコン	内 容	関 連 項 目
	【貧困をなくそう】 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	運営方針 03 基本施策 03, 06, 07
	【飢餓をゼロに】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	基本施策 06, 08, 10
	【すべての人に健康と福祉を】 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	運営方針 03, 05, 08 基本施策 01, 02, 03, 04, 05, 06, 07, 22, 26, 31, 32, 33
	【質の高い教育をみんなに】 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	運営方針 05, 08 基本施策 03, 04, 05, 06, 15, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 40
	【ジェンダー平等を実現しよう】 ジェンダー平等*を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う	運営方針 03, 05 基本施策 03, 06, 15, 19, 22
	【安全な水とトイレを世界中に】 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	基本施策 27, 31, 32
	【エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	運営方針 08 基本施策 11, 13, 16, 26
	【働きがいも経済成長も】 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	運営方針 03, 05, 08 基本施策 04, 06, 08, 10, 11, 12, 13
	【産業と技術革新の基盤をつくろう】 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	運営方針 06, 07 基本施策 11, 12, 13, 16, 17, 18, 20, 26, 32, 33, 37
	【人や国の不平等をなくそう】 各国内及び各国間の不平等を是正する	運営方針 03, 05 基本施策 03, 04, 06, 08, 22, 24
	【住み続けられるまちづくりを】 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する	運営方針 01, 02, 03, 05, 06, 07, 08 基本施策 03, 04, 05, 06, 07, 08, 09, 12, 14, 16, 18, 24, 26, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40

アイコン	内 容	関 連 項 目
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>【つくる責任つかう責任】 持続可能な生産消費形態を確保する</p>	<p>基本施策 08, 10, 12, 26, 28, 30, 36, 40</p>
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	<p>【気候変動に具体的な対策を】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>基本施策 08, 09, 17, 26, 28</p>
 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>	<p>【海の豊かさを守ろう】 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保存し、持続可能な形で利用する</p>	<p>基本施策 10, 16, 17, 25, 26, 27, 28, 32, 40</p>
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>【陸の豊かさも守ろう】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性*の損失を阻止する</p>	<p>基本施策 08, 09, 16, 18, 25, 26, 27, 30, 40</p>
 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>	<p>【平和と公正をすべての人に】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>	<p>運営方針 02, 04 基本方針 06, 07, 40</p>
 <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>	<p>【パートナーシップで目標を達成しよう】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる</p>	<p>運営方針 02, 06, 08 基本施策 03, 04, 14, 20, 24, 36</p>



第8 重点プロジェクト

第7次基本計画の推進に当たっては、理想の都市像とする「人間環境都市」の実現に向け、基本構想に掲げる5つのまちづくりの目標に沿った施策を推進します。

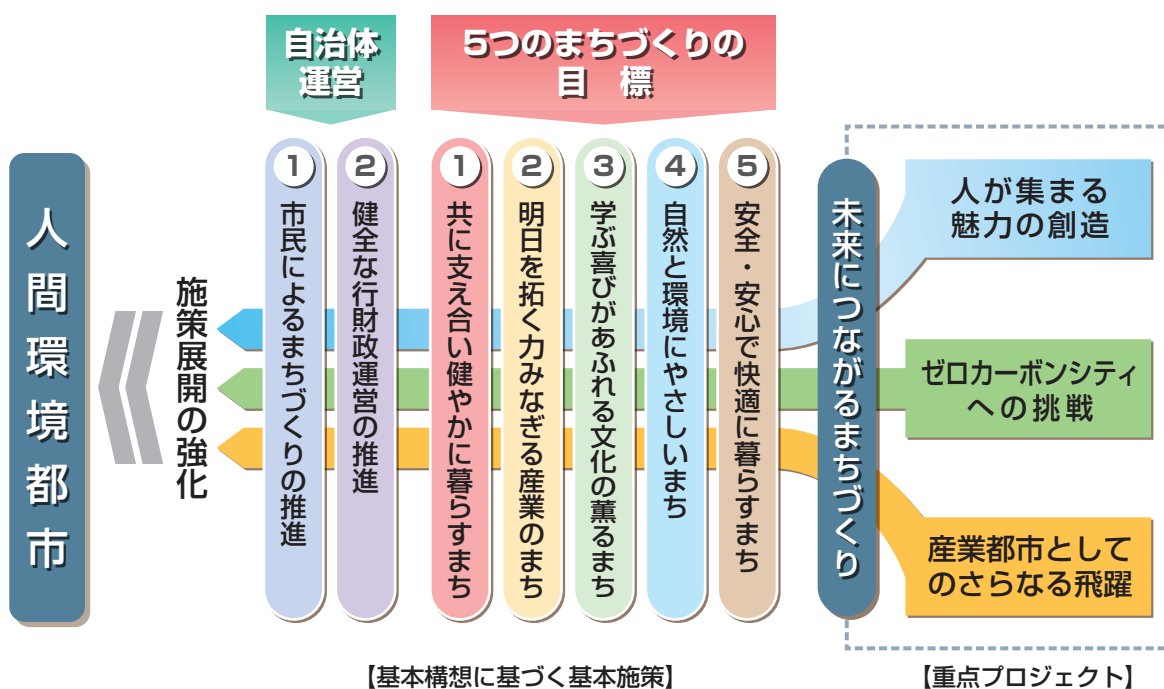
一方で、近年の急激な社会経済情勢の変化により、行政課題は一層複雑化しており、複数の分野が連携して取り組まなければ解決が困難な課題も顕在化しています。

「人間環境都市」の実現に向けた施策を推進する中で、このように分野を横断し戦略的に取り組む必要がある事項については、重点プロジェクトとして位置づけ課題の解決を図ることとします。

人口減少に転じた本市において、まちの維持・発展を続けることが大きな課題となっていることから、「未来につながるまちづくり」をテーマに「人が集まる魅力の創造」、「ゼロカーボンシティ^{*}への挑戦」、「産業都市としてのさらなる飛躍」の3つを重点プロジェクトとして設定します。

基本計画に掲げた全ての施策については、5つのまちづくりの目標に沿って取組を進めるとともに、3つの重点プロジェクトの視点からもその重要性・必要性を意識し、施策展開の強化を図ります。

《重点プロジェクトの体系図》



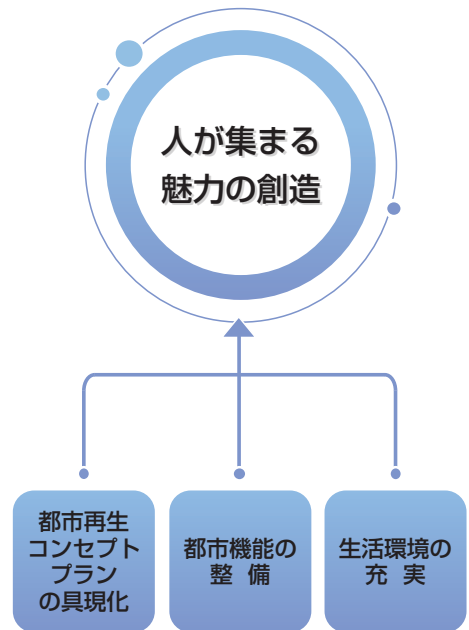
1 人が集まる魅力の創造

増加を続けてきた本市の人口は、平成26年(2014年)から減少に転じ、令和3年(2021年)には17万人を下回りました。

本市においてはこれを喫緊の課題として、「苫小牧市総合戦略」を始めとした様々な施策により対策を進めています。

人口減少は地方都市共通の課題ですが、まちに人を呼び込み、定着させるためには、分野を問わずあらゆる面で魅力的なまちである必要があります。

「人が集まる魅力の創造」を重点プロジェクトとして設定し、以下のアプローチにより施策展開を強化します。



アプローチ ① 都市再生コンセプトプランの具現化

令和3年(2021年)に策定した苫小牧都市再生コンセプトプランでは、「ウォークラブルなまちづくり」、「ウォーターフロントの再生」、「次世代産業の展開」、「人材育成・多文化共生」を構成要素として、今後のまちづくりのコンセプトを示しています。

駅周辺エリアの再生を含め、まちの魅力を創造する上で必須となるプランであり、具現化に向けて関連施策を推進します。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策17-3

親しまれる港づくり



← キラキラ公園で行われたキッチンカーイベント

○ 基本施策29-2

にぎわいの創出



TOMAKOMAI MIRAI FEST 2022 →
ロゴ



アプローチ ② 安全・安心な都市機能の整備

安心して快適に暮らせる都市機能を有するまちは魅力的であり人が集まります。地震や津波など大規模な自然災害発生時の対応に限らず、事前防災・減災の視点から平時の備えを強化するなど、安全・安心な都市機能を強化します。

また、人口減少時代に対応したコンパクトなまちづくりを進めるほか、デジタル技術を活用して都市機能を最適化することによりスマートシティ*を実現し、市民及び企業市民の利便性・快適性の向上を目指します。

《代表的な取組事例》

○ 運営方針06-4

ICTの活用と行政情報の適正管理



苫小牧市スマートシティ
官民連携協議会

○ 基本施策34-1

市内公共交通の充実



総合体育館などに配備された
バスロケーションシステム
(デジタルサイネージ)

○ 基本施策36-1

防災体制の充実・整備



市内全域に配備が完了
した防災行政無線

アプローチ ③ 生活環境の充実

教育環境の充実を図り、次代を担う子どもたちの学びを保障するとともに、子育て世代の負担軽減に向けた取組を進め、若者が躍動するまちを目指します。

超高齢社会*において、市民が抱える生活課題を把握し、医療や介護、福祉などの環境の充実を図り、市民が安心して生き生きと暮らすふくしのまちを目指します。

また、国籍や性別、価値観など、多様な個性が存在する社会において、その多様性が尊重され、市民一人ひとりが持てる能力で輝き、誇りを持って暮らすことができるまちづくりを推進します。

《代表的な取組事例》

○ 運営方針03-1

男女平等参画社会の実現に向けた気運の醸成



男女平等参画について意見を交換した
市長とジェンダーミーティング

○ 基本施策06-2

子ども・子育て家庭を地域で支えあう環境整備



令和4年4月に開設した
みその保育園子育てルーム

○ 基本施策19-1

社会で生きる学びの推進



ICTを活用した授業風景

【目安となる主な数値】

総人口 (人)	生産年齢人口 (人)	人口の増減(対前年比)(人)				
		転出者数	転入者数	出生数	死亡者数	合計
168,299	97,990	6,060	6,006	959	2,151	▲ 1,229

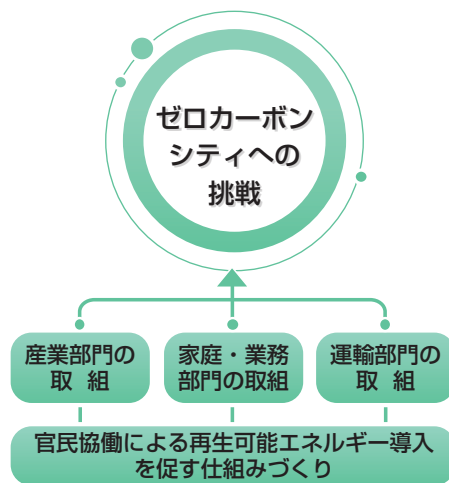
(令和4年12月31日時点)

地球温暖化に起因する気候変動は、世界中の人々の生活や生態系に大きな影響を与える深刻な問題となっており、世界各国で脱炭素社会^{*}に向けた動きが活発化しています。

令和2年(2020年)、我が国においても2050年までにカーボンニュートラル^{*}、脱炭素社会の実現を目指すことが宣言されました。

本市においては、かねてよりCCS^{*}の実証実験が行われており、これまでの経緯を踏まえ、令和3年(2021年)8月にゼロカーボンシティへの挑戦を宣言しました。

ゼロカーボンシティに向けては、分野を問わず、また市民、事業者、市が協力しながら取り組まなければならない課題であり、「ゼロカーボンシティへの挑戦」を重点プロジェクトとして設定し、以下のアプローチにより施策展開を強化します。



アプローチ ① 産業部門の取組

本市の温室効果ガス排出量の約7割は工場などの産業部門によるものであり、ゼロカーボンシティの実現のためには産業部門での積極的な取組が必要となります。

企業独自の排出量削減の取組を企業間の連携によりさらに促すほか、排出が残る分野への対策としてCCUS^{*}・カーボンリサイクルを推進することで、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策13-1

企業誘致と産業基盤の整備



← 工場等から排出されるCO₂を利用または地中に貯留するCCUS

苫小牧市版
ゼロカーボンシティ →

○ 基本施策26-1

ゼロカーボンシティへの挑戦



アプローチ ② 家庭・業務部門の取組

ゼロカーボンシティの実現には、市民一人ひとりの取組も重要です。リサイクルを始めとするごみの再資源化に限らず、ZEB・ZEH^{*}による、省エネルギーやエネルギー循環などの取組を通して、資源循環型の社会を目指します。

また、地球温暖化やゼロカーボンに関する出前講座の実施、省エネルギーの推進、補助制度の充実など、市民や町内会に対する様々な施策を展開し、環境意識の定着や自発的なゼロカーボンへの取組を促します。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策19-2

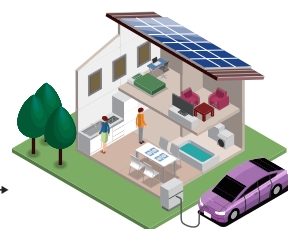
学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立



← 市職員による環境問題に関する出前講座の様子

○ 基本施策26-1

ゼロカーボンシティへの挑戦



年間の一次エネルギー消費量 → 0を目指したZEHのイメージ



アプローチ ③ 運輸部門の取組

長距離トラックや船舶・航空機は電化が困難な部門であり、クリーンエネルギー*である水素やアンモニアの活用が期待されています。クリーンエネルギーの導入促進などにより、サプライチェーン*全体の脱炭素化に向けた取組を支援します。

また、苫小牧港は北海道の港湾貨物量全体の約5割を取り扱っており、札幌市や道内各地への陸上輸送ネットワークがすでに構築されています。この充実したネットワークを活用するなどして、各地へのクリーンエネルギーの供給拠点を目指します。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策17-1

港湾機能の強化



← カーボンニュートラルポートを目指す苫小牧港

脱炭素化に向けて動き出した → 新千歳空港

○ 基本施策26-1

ゼロカーボンシティへの挑戦



アプローチ ④ 官民協働による再生可能エネルギー導入を促す仕組みづくり

ゼロカーボンシティの実現には、再生可能エネルギーの導入拡大が鍵となります。行政や企業が中心となり、地域資源である豊富な再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを最大限活用することで、地域のエネルギー収支の改善につながることが期待できます。

さらに、再生可能エネルギー由来の電力供給や、余剰電力を活用した水素やアンモニアの生成、また、苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会による企業間連携を通じて、脱炭素技術の導入促進とゼロカーボンシティの実現の加速化につなげます。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策11-3

再生可能エネルギー導入の推進

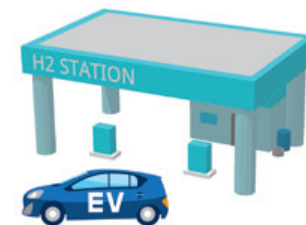


← 再生可能エネルギーの導入促進や有効利用のイメージ

再生可能エネルギー普及に向けた → 水素ステーションのイメージ

○ 基本施策13-1

企業誘致と産業基盤の整備



【目安となる主な数値】

温室効果ガス排出量(2019年度) (1,000t-CO ₂ /年)						太陽光発電導入量 (2020年) (MW)
苫小牧市全体	産業部門	家庭部門	業務その他部門	運輸部門	廃棄物部門	
4,577	3,267	436	297	562	15	203

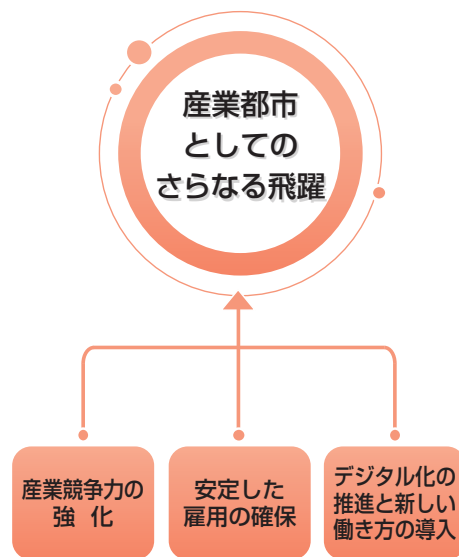
3

産業都市としての更なる飛躍

本市は国際拠点港湾・苫小牧港と、北海道の空の玄関・新千歳空港を有する交通の要衝であり、製紙業や自動車関連産業、石油関連産業などが盛んな産業都市として発展し、現在は産業・物流の拠点として北海道経済をけん引する役割を担っています。

しかし、産業都市において生産年齢人口^{*}の減少は、人手不足という大きな影響をもたらす課題となっており、また、新型コロナウイルス感染症の爆発的流行と急激な物価高騰は、立地企業に打撃を与え、地域産業はこれまでにない苦境に立たされています。

未来につながるまちづくりを進める上で、「産業都市としてのさらなる飛躍」は本市にとって不可欠な要素であり、これを重点プロジェクトとして設定し、以下のアプローチにより施策展開を強化します。



アプローチ ① 産業競争力の強化

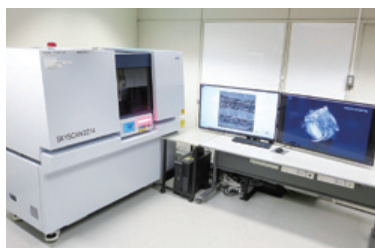
ゼロカーボンやDX(デジタルトランスフォーメーション)^{*}に向けた企業の動き、新型コロナウイルス感染症による働き方の変化など、時代の潮流を踏まえた企業誘致の取組及び立地企業へのサポートを進め、地域産業の活性化・競争力の強化を図ります。

また、温度管理型冷凍冷蔵倉庫を核とした新たなフードロジスティクス^{*}を形成することにより、農水産物の高付加価値化を進め輸出拡大を図るなど、北海道経済をリードします。

《代表的な取組事例》

○ 基本施策11-1

中小企業の振興と技術支援



← テクノセンターに導入された超微細四次元X線CT解析装置

苫小牧工業高等専門学校 → サテライト(C-base)での取組の様子

○ 基本施策11-2

産学官金連携による産業力の強化



○ 基本施策17-1

港湾機能の強化



← 苫小牧港では現在4基のガントリークレーンを設置

フードロジスティクスの → 要となる冷凍冷蔵庫

○ 基本施策18-1

苫小牧東部開発の推進





アプローチ ② 安定した雇用の確保

立地企業が抱える課題を把握し必要なサポートを行うことで雇用の確保、人材の確保に努めるとともに、企業誘致などを通じて新たな雇用の創出を図ります。

また、若年層の地元就職やU・I・Jターン*の促進、女性や高齢者等が活躍できる環境の整備、外国人労働者の受け入れ態勢の充実など、生産年齢人口の減少に伴う人手不足への対策を推進します。

《代表的な取組事例》

○ 運営方針03-3

男女平等参画の環境の整備



女性のための起業セミナーの様子

○ 基本施策15-2

多様な人材を受け入れる雇用環境の整備・充実



なでしこ就職応援事業での就活に役立つメイクセミナーの様子

○ 基本施策20-2

高等教育機関との連携



本市唯一の4年制大学である北洋大学

アプローチ ③ デジタル化の推進と新しい働き方の導入

産業の分野を問わず、企業を取り巻く環境は劇的に変化しています。特に、情報化社会の進展や生産年齢人口の減少により、企業におけるデジタル化・ICT*化、そしてDXの重要性は増しており、立地企業が抱える課題を把握し、適宜必要な支援策を講じます。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延等により、新しい働き方が広がりを見せており、ワーケーション*の受入れやサテライトオフィス*の誘致など、本市の特性や優位性をいかした取組を推進します。

《代表的な取組事例》

○ 運営方針06-4

ICTの活用と行政情報の適正管理



← ワーケーション拠点としてWi-Fi環境を整備したオートリゾート苫小牧アルテン

ICT推進コミュニティ → 創出事業の様子

○ 基本施策12-1

中小・小規模事業者に対する商業経営の安定と強化



【目安となる主な数値】

事業所数 (人)	年間製造品 出荷額 (百万円)	苫小牧港における年間貨物取扱数(t)			管内職業紹介数(人)	
		外国貿易	内国貿易	合計	新規求人数	新規求職申込数
7,339	1,328,507	13,811,551	86,485,952	100,297,503	17,741	9,134

(令和2年6月時点)

第9 施策の体系

理想の都市「人間環境都市」

自治体運営

第1 市民によるまちづくりの推進

運営方針01

地域活動の促進

- 1 地域住民組織の活性化と地域活動の支援
- 2 市民交流拠点の整備

運営方針02

市民自治の推進

- 1 市民参加・協働の促進
- 2 広聴の充実
- 3 広報の充実

運営方針03

男女平等参画の推進

- 1 男女平等参画社会の実現に向けた気運の醸成
- 2 多様な性に対する理解の促進
- 3 配偶者等からの暴力の根絶
- 4 性別による固定的な役割分担意識の改革
- 5 女性の社会参画の促進
- 6 男女平等参画の環境の整備

運営方針04

平和の推進

- 1 苫小牧市非核平和都市条例の推進

部門別計画

第1 共に支え合い 健やかに暮らすまち

1 健康な暮らしの実現

基本施策01

保健予防対策の充実

- 1 健康づくりの推進

基本施策02

医療体制の整備・充実

- 1 高度で良質な医療の提供
- 2 地域医療の充実と継続
- 3 救急医療体制の充実

2 地域で支え合う 福祉社会の形成

基本施策03

地域福祉の推進

- 1 自分らしく生きるための仕組みづくり(ひと)
- 2 共に支えあう地域づくり(ちいき)
- 3 誰もが安心して暮らせる環境づくり(まち)

基本施策04

高齢者福祉の推進

- 1 自立支援・介護予防等による健康な暮らしの実現
- 2 安心と信頼の介護保険制度の推進
- 3 地域における包括的支援体制づくり
- 4 生き生きとした高齢社会の実現

基本施策05

障がい者福祉の推進

- 1 自己実現を応援するまちづくり
- 2 暮らし続けられるまちづくり
- 3 バリアフリーのまちづくり

基本施策06

子育て支援の充実

- 1 子どもと子育て家庭への啓発と相談支援
- 2 子ども・子育て家庭を地域で支え合う環境整備
- 3 子ども・子育て家庭への経済的支援

基本施策07

社会保障の維持

- 1 国民健康保険の健全な運営と北海道後期高齢者医療広域連合との連携
- 2 生活保護世帯への適正な保護と自立促進

第2 明日を拓く力みなぎる産業のまち

1 地域の特性をいかした 産業の振興

基本施策08

農業の振興

- 1 担い手の育成・確保と農業経営体質の強化
- 2 都市農村交流や地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持
- 3 地域資源を活用した新事業や利用促進の推進
- 4 関係機関と連携した鳥獣被害防止対策の実施

基本施策09

林業の振興

- 1 公益機能を重視した森林業の促進
- 2 林業経営の指導
- 3 森林の保護

基本施策10

水産業の振興

- 1 資源の保護と増加
- 2 漁業経営安定化の確立
- 3 豊富な海産物の魅力発信

基本施策11

工業の振興

- 1 中小企業の振興と技術支援
- 2 産学官金連携による産業力の強化
- 3 再生可能エネルギー導入の促進

基本施策12

商業の振興

- 1 中小・小規模事業者に対する商業経営の安定と強化
- 2 地域の商店街及び地域経済の活性化

基本施策13

企業立地の促進

- 1 企業誘致と産業基盤の整備
- 2 立地企業への支援

基本施策14

観光の振興

- 1 地域の魅力の有効活用
- 2 観光推進体制の強化
- 3 新たな魅力づくり

基本施策15

雇用・労働環境の整備・充実

- 1 雇用の確保・拡大と若者の地元就職の促進
- 2 多様な人材を受け入れる雇用環境の整備・充実
- 3 職業能力開発体制の強化
- 4 勤労者福祉の拡充

2 産業基盤の整備促進

基本施策16

新千歳空港の拠点形成強化と周辺環境対策の推進

- 1 新千歳空港における航空ネットワークの維持・拡大
- 2 新千歳空港の利用促進
- 3 米軍再編訓練等に伴う安全確保
- 4 空港周辺地域の環境整備
- 5 国際リゾートエリアの形成

基本施策17

港湾整備とポートセールスの推進

- 1 港湾機能の強化
- 2 安全・安心を支える港づくり
- 3 親しまれる港づくり
- 4 ポートセールスの推進

基本施策18

苫東開発の推進

- 1 苫小牧東部開発の推進

第2 健全な行政運営の推進

運営方針05

行政組織の活性化

- 1 組織・職員数の適正化
- 2 職員の適正配置・能力向上
- 3 能力・業績重視の人事管理
- 4 働きやすい職場環境の整備
- 5 健康経営の推進

運営方針06

行政運営の効率化・適正化の推進

- 1 行政改革の推進
- 2 民間活力の活用
- 3 行政事務の評価
- 4 ICTの活用と行政情報の適正管理

運営方針07

健全な財政運営と財政基盤の強化

- 1 健全な財政運営
- 2 財政基盤の強化
- 3 新たな財源確保への取組

運営方針08

広域連携の推進

- 1 都市間連携の推進
- 2 国や関係自治体との連携の推進

第3 学び喜びがあふれる文化の薫るまち

1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実

基本施策19

義務教育の充実

- 1 社会で生きる学びの推進
- 2 学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立

基本施策20

高校・大学・各種教育機関の充実

- 1 高等学校の充実
- 2 高等教育機関との連携
- 3 育英制度などの充実

2 人が輝き文化の薫るまちづくりの推進

基本施策21

生涯学習の推進

- 1 主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支える人づくり
- 2 いつでも、誰でも学べる環境づくり

基本施策22

市民スポーツの推進

- 1 生涯スポーツの充実
- 2 競技スポーツの充実
- 3 スポーツ施設の整備と活用
- 4 国際・国内のスポーツ交流
- 5 各種スポーツ大会や合宿の誘致
- 6 パラスポーツの推進

基本施策23

文化芸術の振興

- 1 文化芸術活動の促進
- 2 人材の育成
- 3 文化芸術に触れる環境の整備と充実
- 4 地域の歴史的文化遺産の保存と活用

基本施策24

国際・国内交流の推進

- 1 国際交流の推進
- 2 多文化共生と異文化理解の推進
- 3 国内交流の推進

第4 自然と環境にやさしいまち

1 自然と調和した快適環境の保全

基本施策25

自然環境の保全

- 1 自然環境及び生物多様性の保全
- 2 自然環境及び生物多様性の保全に向けた環境教育、人材育成

基本施策26

公害の防止と地球環境の保全

- 1 ゼロカーボンシティへの挑戦
- 2 公害の防止

基本施策27

生活衛生の充実

- 1 生活環境の確保
- 2 霊園・霊葬場などの整備

2 廃棄物の適正処理と資源循環型社会の実現

基本施策28

ごみの減量とリサイクルの推進

- 1 4Rの推進によるごみの減量
- 2 市民との情報共有と環境教育の推進
- 3 環境負荷の軽減を目指す効率的なごみ処理事業の推進

第5 安全・安心で快適に暮らすまち

1 快適な生活環境の整備

基本施策29

まちなかの活性化

- 1 駅周辺ビジョンの推進
- 2 にぎわいの創出
- 3 公共交通等サービスの利便性向上

基本施策30

居住環境の充実

- 1 公営住宅の整備
- 2 民間住宅支援
- 3 空き家対策
- 4 公園・緑地の整備
- 5 緑化の推進

基本施策31

上水道の整備・健全な維持管理

- 1 新水道ビジョンの推進
- 2 施設の老朽化対策
- 3 災害対策
- 4 事業の健全経営

基本施策32

下水道の整備・健全な維持管理

- 1 施設の老朽化対策
- 2 災害対策
- 3 事業の健全経営

2 利便性の高い交通環境の整備

基本施策33

道路の整備

- 1 主要幹線道路の整備
- 2 幹線道路・生活道路の整備
- 3 道路・橋梁等の改築・修繕

基本施策34

公共交通の充実

- 1 市内公共交通の充実
- 2 市内公共交通ネットワークの構築

3 安全・安心な市民生活の確保

基本施策35

消防・救急体制の充実

- 1 消防施設、消防車両、資機材及び消防水利の整備
- 2 消防団員の効率的な運用及び職務能力の向上
- 3 企業・地域住民と連携した地域防災力の強化

基本施策36

防災体制の充実

- 1 防災体制の充実・整備
- 2 災害の未然防止

基本施策37

河川・海岸の保全と河川環境整備

- 1 河川・海岸の保全
- 2 河川環境整備

基本施策38

交通安全の推進

- 1 交通安全教育の推進
- 2 交通安全に関する普及啓発活動の推進
- 3 道路交通環境の整備促進

基本施策39

防犯対策の推進

- 1 犯罪予防対策の強化
- 2 防犯体制の充実

基本施策40

消費生活の安定

- 1 消費者意識の向上
- 2 消費者保護
- 3 生活必需品などの安定供給

